

がんばる！地域！

vol. 27
梯

コミュニティの希薄化が課題となっている現在、広川町では、地域のつながりをさらに深めるために「地域コミュニティ推進事業」を進めています。

各行政区では、区民が主役の特徴ある活動が行われています。このコーナーでは、各行政区の取り組みを紹介していきます。第27回は「梯区」です。

梯区は、周囲を山々に囲まれた自然豊かな地域です。桜が咲き誇る春の広川ダムや、蛍が乱舞する夏の川沿いには多くの人々が訪れ、地域のシンボル、宝となっています。

より住み良い地域となるよう、みんなで豊かな自然を守りながら、「人と人をつなぐ ふれあいの かけはし」づくりに取り組んでいます。

安全で安心な地域づくり

地域の安全安心を確保するため、自主防災組織による防災訓練の実施や簡易消火栓の設置など、防災・防犯対策に取り組んでいます。



↑ 自主防災組織による可搬ポンプ・消火栓点検

豊かな自然環境保全

自然豊かな地域を守るため、定期的な草刈りやごみ回収など、地域の環境保全に努めています。



区内環境美化活動⇒

ふれあいと交流の地域づくり

公民館を拠点に、高齢者が集う場所づくりや、近隣の区と連携した子ども会行事の実施などを行っています。



きらめき学習⇒



↑ 慰霊祭



↑ 十七夜

今後も協力・助け合いの精神のもと、地域住民のふれあい交流事業を進めていきます。



↑ 桜が咲き誇る広川ダム

SDGs (持続可能な開発目標)とは、国連で日本を含む全世界が同意した2030年までに達成すべき目標です。

ひろかわSDGsプロジェクト

エスディーズ

SDGs : 目標 15 「陸の豊かさを守ろう」

達成のために広川で頑張っている団体 → 「長延区里山倶楽部」

国土の3分の2が山である日本には、森林の保全や回復、木材の有効利用などの活動をしている企業や団体が多く存在します。

広川町の「長延区里山倶楽部」も、自然に恵まれた環境を「宝」と考えて環境保全に取り組んでおり、その活動は11年目を迎えます。

今回、長延区里山倶楽部取材の中で、関係者が「楽しんで取り組んでいる」ことが伝わってきました。楽しんで取り組むということは、活動の自発性に繋がります。また、自発的な行動は誰かに強制される行動とは違い、継続しやすいという特徴があります。まさに「持続可能な」取り組みの好事例です。



「地球のため」「環境保全のため」の活動も、最終的に「人間のため」にすり替わってしまうことは少なくありません。
 私たちの当たり前の生活は、自然環境と生物の多様性によって支えられています。「すべての開発をやめて原始の自然に戻そう」というのは無理がありますが、自然の恵みを利用しながら生きるからには、その恩恵を受け続けられるような道を探さなければなりません。
 現在絶滅の危機にある植物、動物の数はご存じですか？
 まずは調べることから始めてみましょう。



国際理解教育推進員 糀広大

より深く知るために、次のようなキーワードで検索してみましょう。

里山保全活動 検索 絶滅危惧種 検索

広川文芸

広川短歌会

やうやうに癒えし躰にこまかけて孫の贈りし竹杖みがく	夕暮れて虫の音蛙に透きてくる猛暑地獄の関所超えたり	前傾の姿勢に奏つるほかはなしピアノ椅子には背凭れがない	いい年齢 <small>とし</small> になりましたねと自らにことばをかける朝の鏡台	広島 <small>の</small> 原爆の火は星野村に燃えつづけたたり七十三年	早朝の窓を横切る飛行機の描きし線はやがて膨らむ	定置網にははいらぬが片隅に仕掛けた罫にあなたはかかる	影までも汗したたらすこの暑さ葉月終りの暦をめくる	ひと雨によるこび告げるや虫の音のとぎれることなく庭に広がる	なんとなく過ごすひと日は何となく過ぎゆき速し残る空しさ	枯れかかる里芋の根にホース引き朝夕二時間灌水したり	空澄みてカーテン揺らす風のありとんぼの群れは日ごと <small>に</small> ふえる	朝顔のひらく瞬間に立ち会うて今日も生きんと井戸水を撒く	我欲なく奉仕一途のひとも居る何処に隠れた日の丸ジャンパー
美座 時朗	結束 節子	山下 整子	鹿田 恵	馬場美智子	高橋 和子	野田 光介	青木佳代子	中川原勝代	野中ヨシ子	原 千恵子	野中 勝美	姫野 洋子	蓮子 住雄